

厚生労働行政推進調査事業費補助金補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
分担研究年度終了報告書

診療ガイドラインの担う新たな役割とその展望に関する研究

分担研究者 国立成育医療研究センター政策科学研究部 森臨太郎

研究要旨

本研究は、診療ガイドラインの担う新たな役割を果たすために、評価との連携の可能性を検討することを目的としている。今年度は日本医療機能評価機構と連携して、診療ガイドラインに関わる専門家、コクラン日本支部の関係者や医療技術評価に関わる専門家が集まり、ワークショップを開催した。我が国における最適な連携のあり方について議論した。

A. 研究目的

我が国において、診療ガイドラインが導入され15年以上が立ち、年々その質が向上してきた。今後の課題として、医療経済分析、患者一般参画、質的研究法をその作成にどのように取り組むかが挙げられている。一方、厚生労働省中央社会保険医療協議会を舞台に、その意思決定に医療技術評価を含めていく議論がなされており、医療技術評価や費用対効果分析に対する関心も高まっている。診療ガイドラインにおいても、医療技術評価においても、系統的レビューにおいても、その手法の基盤を共有することもあり、英国NICEをはじめ、多くの国では診療ガイドラインと医療技術評価、またコクランをはじめ系統的レビューの専門家グループが様々な形の連携をとっている。我が国においては、診療ガイドラインが政策の意思決定の中で利用されるというよりは学会主導の立場をとることもあり、こういったそれぞれの国の制度において最適な連携のあり方を模索する必要がある。したがって、本研究の目的は、こういった我が国の状況を踏まえて、最適な診療ガイドラインにおける医療経済評価の在り方について検討するこ

とである。

B. 研究方法

本研究は今年度、日本医療機能評価機構と連携して、国内の最初のシンポジウムを企画し、診療ガイドラインに関わる専門家、コクラン日本支部の専門家、医療技術評価の専門家が共同に発起した。国内の関係者を幅広く集めて、我が国における最適な連携のあり方について議論した。この議論を踏まえて、日本医療機能評価機構と連携して、さらに専門家による深い話し合いをするために日本医療機能評価機構に検討会を設置し、日本の診療ガイドラインにおける医療経済評価に関する位置づけについて検討する

（倫理面への配慮）

該当なし

C. 研究結果

平成29年3月1日に日本医療機能評価機構において、「診療ガイドラインと費用対効果の在り方検討会」を設置した。

初回は、検討会の趣旨説明を山口直人日本医療機能評価機構執行理事より行い、座長を務める分担研究者により行っ

た。

診療ガイドライン作成の全体像について、吉田雅博同検討会委員より説明された。

費用対効果評価に関するエビデンス作成について、福田治久委員より説明がなされた。

診療ガイドラインと経済評価のその考え方と海外動向について、今中雄一委員と、佐々木典子委員より説明された。

分担研究者により議論の論点整理を行い、3か月の行程で、全体的な方向性について、示すことを決定した。

(別添)

1. 診療ガイドラインにおける経済評価について 2018
2. 第1回診療ガイドラインと費用対効果の在り方検討会議事次第
3. 第1回診療ガイドラインと費用対効果の在り方検討会出欠表
4. 診療ガイドラインと費用対効果の在り方検討会について

D. 健康危険情報

該当なし

E. 研究発表

該当なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし